福島浜通りの交流を促進する拠点づくり

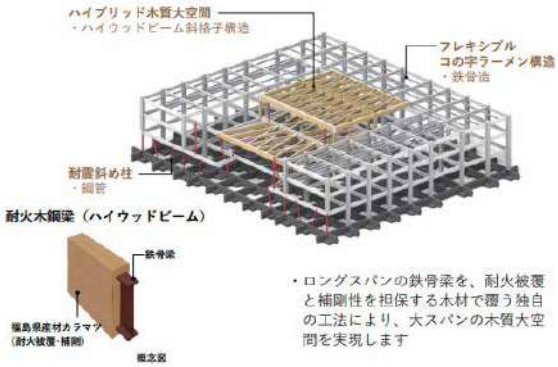
大熊町産業交流施設

清水建設・関・空間設計特定建設工事共同企業体

産業交流施設は、大熊駅西地区の復興を先導するべく、地元産業の需要の受け皿、ビジネスマッチングや人材・企業等の交流に資する働く場、そして長期にわたり新たな産業を生み出す拠点づくりに携わりました。

工事概要

主要用途：事務所、展示場、自動車車庫
建築面積：4,287.07㎡
延面積：10,298.70㎡
階数：地上3階
構造：鉄筋コンクリート造
最高高さ：17.62m



耐火木鋼梁（ハイウッドビーム）構造

東北支店　建築統括部　建築工事部
福島営業所　伊東貴裕班
職長　**小野　康治**（勤続18年）

この現場のコンセプトは『町を新たに作り変える』の基、基盤整備と建物の同時進行で、動線確保が難しかったことと、強風地域でJR線に近接しているため、風散対策にはかなり神経を使いました。また、建物の構造が耐火木鋼梁（ハイウッドビーム）を採用しており、梁の表面に傷を付けないよう細心の注意を払いながら施工しました。基礎掘削工事から鉄骨工事まで、無我夢中で走り廻り、無事に迎えた鉄骨上棟の日に施主である大熊町の担当の方から、初めて声を掛けて頂いた言葉が「リーダーありがとう」。いつも見ていただいていたこと、職長として認められたことに、誇りとやりがいを実感しました。令和に入り、IT化、DX、働き方改革など、課題は多くありますが、古き良きものは残し、新しいものも積極的に取り入れ、培った技術・技能を遺憾なく発揮し働く仲間を大切にして、これからも日々精進してまいります。

有限会社　高橋工業
職長　**石井　憲太朗**（勤続22年）

この現場では、小野職長の元でサブ職長として、仮設の施工を任され、最後まで無事故で施工不良や工程遅延なども無く工事を完了することができました。仮設の施工は、次工程を遅れさせないように、他職さんが安全に使いやすいものを組立てるように心がけました。小野職長から多くのことを学ばせていただきました。また機会があれば一緒に仕事をして、小野職長をサポートしたいと思います。そして、この現場は、働き方改革を推奨し「完全週休二日制」でしたので、家族との時間が多く取れたことに感謝しています。今後は、今まで培ってきた技術・技能を若手に教えていき建設業の発展に貢献できるように頑張ります。